

Title	語文 第103輯 編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	語文. 2014, 103
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/70950
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

Osaka University

編 後

第百三輯をお届けいたします。

載しました。いずれも読み応えのあるものです。 本輯は、文学の論考三本、語学の論考二本、著書紹介五本を掲

きの点、ご教示ご批正のほどよろしくお願いいたします。国語学 研究になる日が来るようにしたい」と仰っていたという記憶があ かつて金水先生が、「将来は日本語研究論文の一割ほどが役割語 の二本は、近年、メディアも大注目の「役割語」に関する研究です。 文学の他二本の論考はいずれも大学院生の研究成果です。 れましたが、巻頭論文は早速そのご成果を発表されたものです。 漢文学の通史の検討」(代表者 合山林太郎先生)が見事採用さ 古典形成の研究ならびに研究環境のグローバル化に対応した日本 する大型プロジェクト」の公募共同研究に「日本漢詩文における 今年度から募集の始まった国文学研究資料館「歴史的典籍に関 お気づ

員著書の紹介原稿がずらりと並ぶのは私たちにとっても非常に嬉 しいことです。ご上梓の際には、 お忙しいところご執筆いただき、 る金水先生のご近著三部作の紹介も掲載されることでしょう。 紹介は最近話題になった大著が並びました。新稲法子先生には 、是非ご一報をお願いいたします。 ありがとうございました。学会

るのですが、本輯に関しては、十割です。次輯には役割語に関す

語文 第百 輯

大阪大学国語国文学会

平成二十六(三〇一四)年十二月 平成二十六(三〇一四)年十二月

+Ŧi.

日 \mathbb{H}

印刷 発行

発編 行集・

〒 560− 8532 大阪府豊中市待兼山町 一一五

大阪大学大学院文学研究科

振替口座〇〇九四〇 出原隆俊 日本文学·国語学研究室 四四 —二四六四

〇六—六八五〇—五一一一

代表

刷 細 亜印刷株式会社

印